

科研「フィールドワーク方法論の体系化」

2010 年度成果

「データ収集法の探究」班

呉羽正昭

A フィールドワークにおけるデータの取得方法の検討

1. 観察, 土地利用調査

観察のポイント

ベースマップの準備

調査地域や範囲との関係

都市：3,000 分の 1 以上の都市計画図, 住宅地図, 高層オフィスビルの場合

農村：10,000 分の 1 から 3,000 分の 1 程度の都市計画図や森林基本図, 空中写真, グーグルアースの写真

過去の地図等

旧版地形図, 過去の都市計画図, 過去の住宅地図 (図書館で数回に分けてコピー), 過去の空中写真, 明治から昭和中期の市街地図

研究テーマとの関連

調査地域に特異な事象との関連

他地域での調査結果等を参照して, 鍵になる土地利用種目や景観に注目する
地誌的な調査

調査・観察時期, 利用交通手段

調査範囲：地域スケールとの関連

例：アメリカ合衆国と日本の農業的土地利用

都市と農村の差異

調査結果のまとめ

土地利用図

凡例設定の重要性

景観分布図

視覚的効果の重要性

2. 聞き取り調査

事前準備

聞き取りに必須な知識 (とくに地名)・資料類の準備

聞き取り項目の整理

調査対象地域による違い

農村と農業：

主たる生産物による (伝統作物, 稲, 麦類, 雑穀類, 茶, 果樹, 工芸作物, 野菜栽培, 施設園芸, 花卉・花木, 牛馬の飼養, 酪農, 養豚, 養鶏など)
＝系統地理的な調査視点

農村の立地による (土地所有, 林野所有, 利用権, 就業形態など)＝地誌学的な調査視点

都市と工業・商業・サービス業

文化など

調査のポイント

誰に対して行うか（尋ねる人の選択）

詳細な聞き取りが可能な人とそうでない人

自治会長，商店会長，区長など（持ち回りの場所もあるので「長」が最も詳細に知っているとは限らない

記憶の明瞭な人（年号や面積等の数値に関する記憶）＝○

全数調査の是非

全数調査：紙媒体を利用したアンケート，特定の個人から全戸の情報を得る
サンプル：代表性に関する説明が必要（対象の類型化）

アポ取りの功罪

聞き取り調査の前にアポイントメント（約束）をとることが望ましい。とくに
応対者が多忙である場合，公的機関や企業の場合には事前連絡が必須である。しかし，近年，犯罪等の頻発もあってか，事前に連絡をすると警戒されたり，その場で調査自体を拒否されることが多くなってきた。それゆえ，場合によっては事前連絡なしに訪ねることも成功の鍵である。

何を質問するのか

調査項目等の準備

話者との関連

聞き取りのテクニック

どのように質問するのか

YesNo で答えられる質問

内容を答える質問

自分のペースで聞き取りをするにはどうするか？

過去の教科書で取りあげられた聞き取りテクニックの例

「聞き手を持ち上げる」

「場所と時期を特定して聞いていく（地図の利用）」

「過去の事象については，現在から過去に遡るような効き方が効果的」

「年代については印象に残っているイベントなどとの前後関係で時期を限定していく」

「四方山話の重要性」

具体例 1

大学院生 X 氏等の例

A 地区（農家 50 戸弱）の果樹を中心とする農業経営について調査

25 戸程度から各農家の経営内容を聞き取り調査

問題点：多くの事例は集まったものの，地区全体の農業経営の変化について，聞き取りが不十分であった
適当な話者の不在，過去の事象に関する曖昧な記憶や果樹農業やその変化に関する一般的な知識の不足による

問題点：論文での使用をイメージして写真を撮ることができなかった

具体例 2

大学院生 Y 氏等の例

B 市で観光農園の調査

10 か所あまりの観光農園経営者・廃業者から経営内容等を聞き取り調査

問題点：それぞれの観光農園で聞き取り調査項目が異なった

観光農園の一般的動向や、果樹農業やその変化に関する一般的な知識の不足や

調査を進めていく中で、新たな調査項目が出現したことによる

問題点：調査結果をまとめる際に、B市の全体像との関連で観光農園の変容を位置づけられない（ゼミの場で、他の調査班の結果等から総合的に考えられなかったのか、等の指導体制が課題）

3. 写真

成果としてどのように使用するのか

いつ撮るべきか

地理写真の分類

記録写真（標本的な意味を有する）定点観測（撮影）など

景観写真（一枚で地理的事象を説明する）

地理写真の条件（石井，1988をもとに）

目的の明確化

主題の明確化

撮影地点，年月日，時間

主題の強調

主体とその係わり（環境）の説明

スケールによる定量的把握

時間的プロセス説明

デジカメ時代の地理写真

ズームレンズを利用してさまざまな写角で撮影

被写界深度を深く？

一眼レフの利用

具体的な調査の実践

順序・方法

1. 土地利用や景観の調査：調査地域で最初に行う。地域のイメージを把握することができる。

2. キーパーソンへの聞き取り調査：役所等の担当職員，関係機関（商工会議所，農協・漁協，観光協会など），自治会長（町内会長，区長）

3. 役所等での地図，統計資料などの収集

4. 図書館での資料収集（市町村誌（史），他の郷土資料，地方の研究会等の発行雑誌など）